

八幡東田アーバンレジデンス LANDSCAPE PLAN

■透水性舗装

透水性舗装は、雨水を空隙の多い多孔質な表層材から路盤、路床に浸透、保水させることにより雨水を地中に還元させる構造の舗装で、主に都市部の歩道や駐車場、軽交通道路等に適用します。

分類	改善項目
自然環境	雨水流失の抑制
	植生・地中生態系の改善
	地下水の貯留・地盤の沈下抑制
社会環境	ヒートアイランド現象の抑制
	雨天歩行時の快適性向上

駐車場

舗装材については、脱色アスファルト（透水性）とし、車止め後方には、植栽帯を設置芝生植栽とする。

駐車場部分の地上輻射熱を抑えることにより快適な住環境を創造する。



中庭

エントランスから住戸のアプローチ上にある中庭は、ゲストをお迎えするラウンジの機能も兼ねてシンプルで落ち着きのあるスペースとする。



エントランス

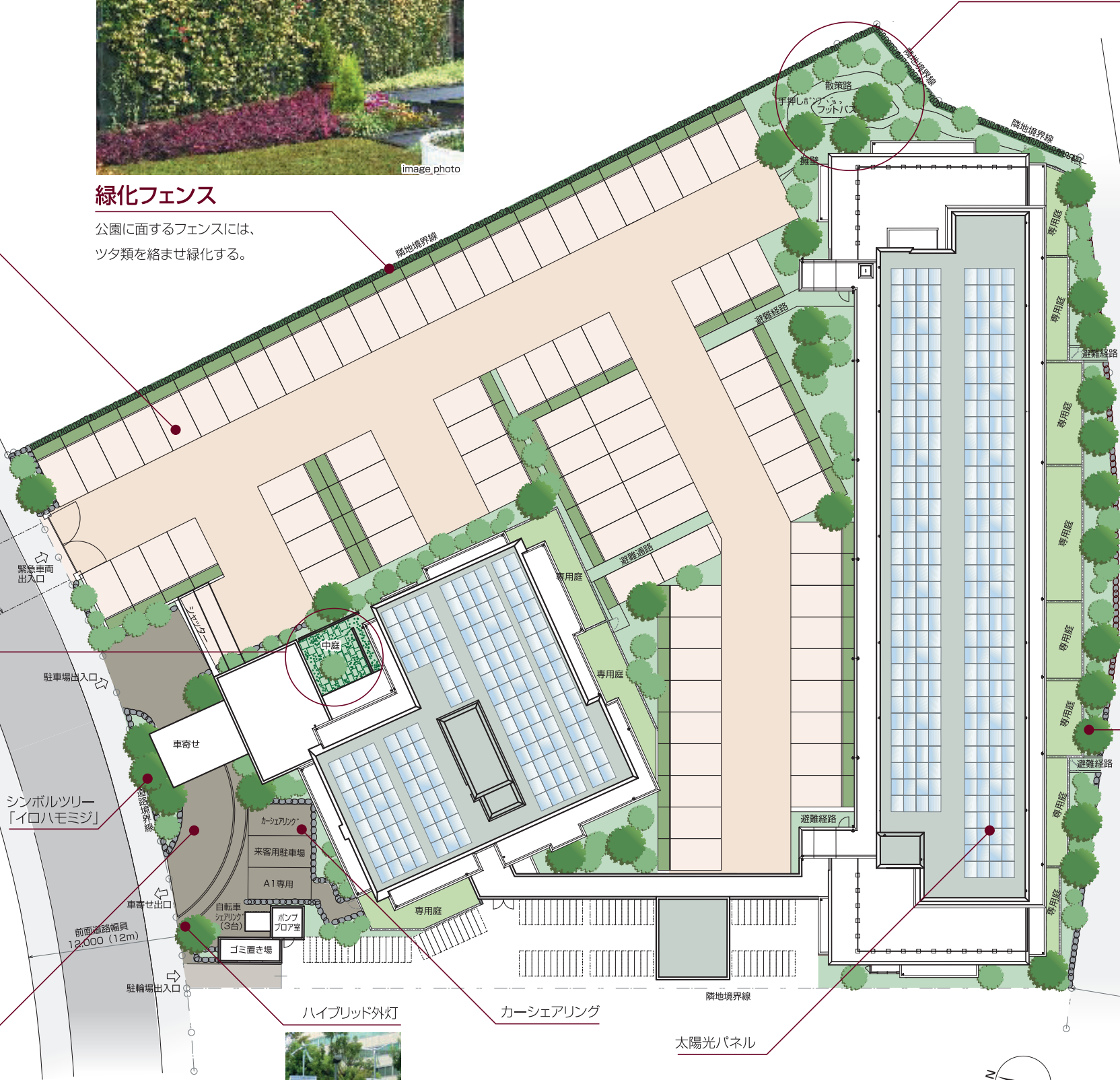
自然石積（野面積）とし、舗装材にはいぶしレンガを用い重厚感溢れ落ち着いた仕上げとする。

玄関周辺は、シマトネリコ、ケヤキ等日本の四季を感じさせる植栽とする。



緑化フェンス

公園に面するフェンスには、ツタ類を絡ませ緑化する。



憩いの杜

多種多様な樹木を配し、野鳥や虫たちが集まる森を形成する。

手押しポンプを置き、オアシスの空間造りを行う。

通路は、環境に配慮して、真砂土舗装として微気候空間の創造に寄与する。



手押しポンプ

思い出の森（南面植栽帯）

前面道路（国道3号）に面する植栽帯は、高さ1.5Mの自然石積を施し、盛土して常緑樹をメインに密な植栽として、防塵・防音効果を高めるとともに街の緑化環境の向上にも貢献する。

